

Ginrei Lab

水平方向  
共培養容器  
NICO-1

お買い上げありがとうございます。本資料は、実験でのご使用にあたり、特に注意していただきたい点を記載しています。

## トラブルシューティング事例集

### 1. フィルターを入れた実験で、液性因子の通過が少ないのですが？

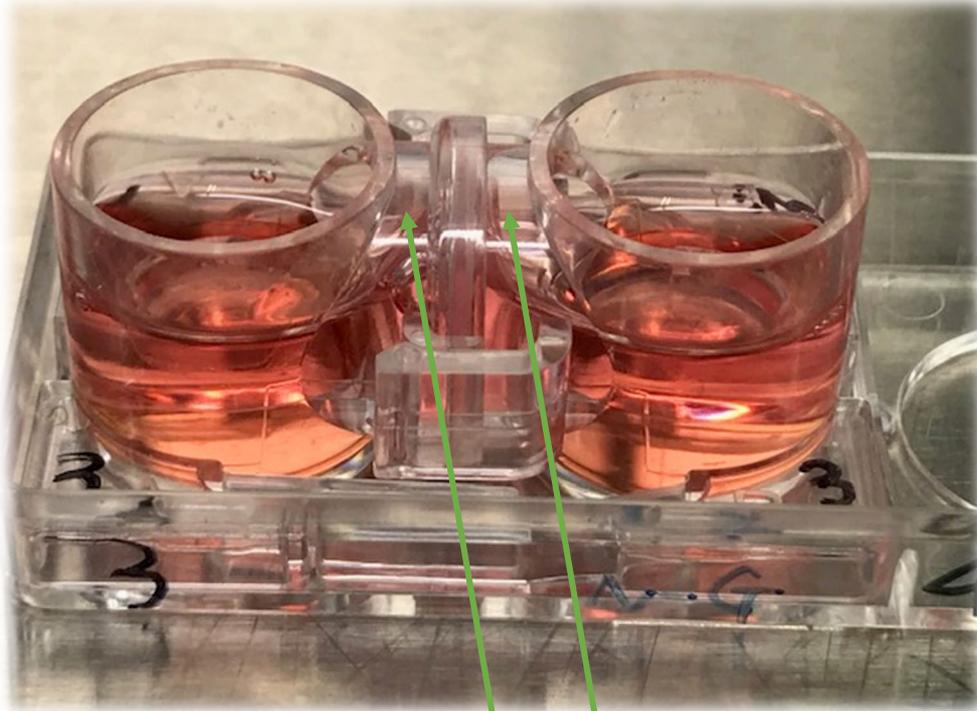
タンパク質やエクソソームなどの因子は、フィルターにも、容器にも、抽出するキットにも付着します。そのため、工程が多いほど、回収量は減少してしまいます。ポジコンサンプルで十分回収できている場合（抽出過程に問題がない場合）は、まずは、培養した条件やフィルターの処理を確認してください。よくあるケースでは、培養液が少ない場合や、フィルターを十分に脱気していない場合があります。培養液量が少ないと、フィルターが培養液に接する面積が少なくなり、著しく共培養効果が低下します。

また、フィルターの孔にも空気が残存していますので、使用前に十分に脱気が必要です。具体的な量や状態、フィルター処理については、次ページ以後をご参照ください。

# トラブルシューティング事例集 培養液量

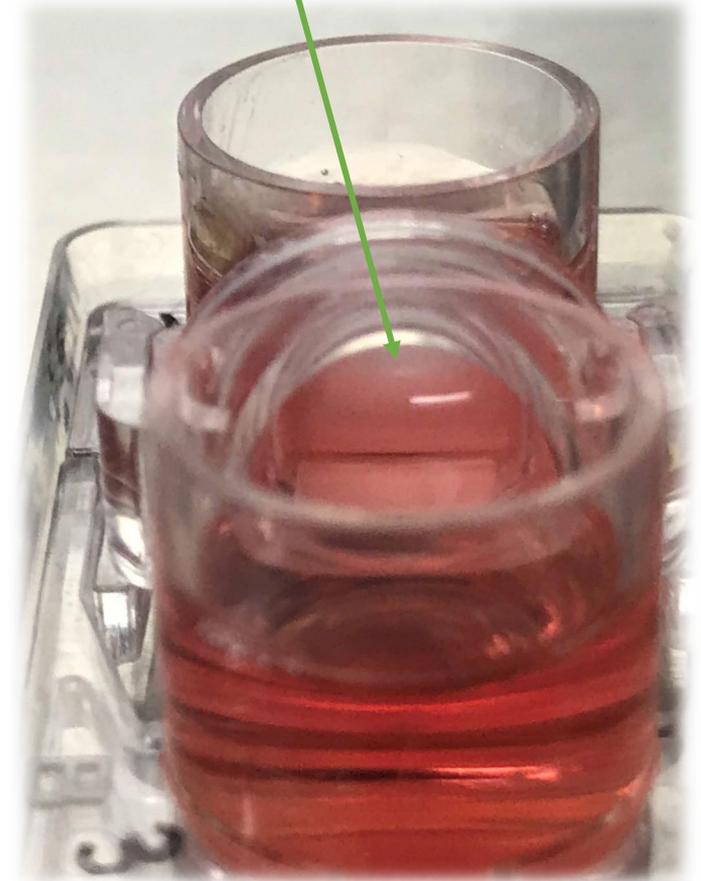
## 良くない状態

Mediumが不足している場合（1ml）



通路が液面で覆われていません。  
このような場合は、共培養効果が著しく低下します。

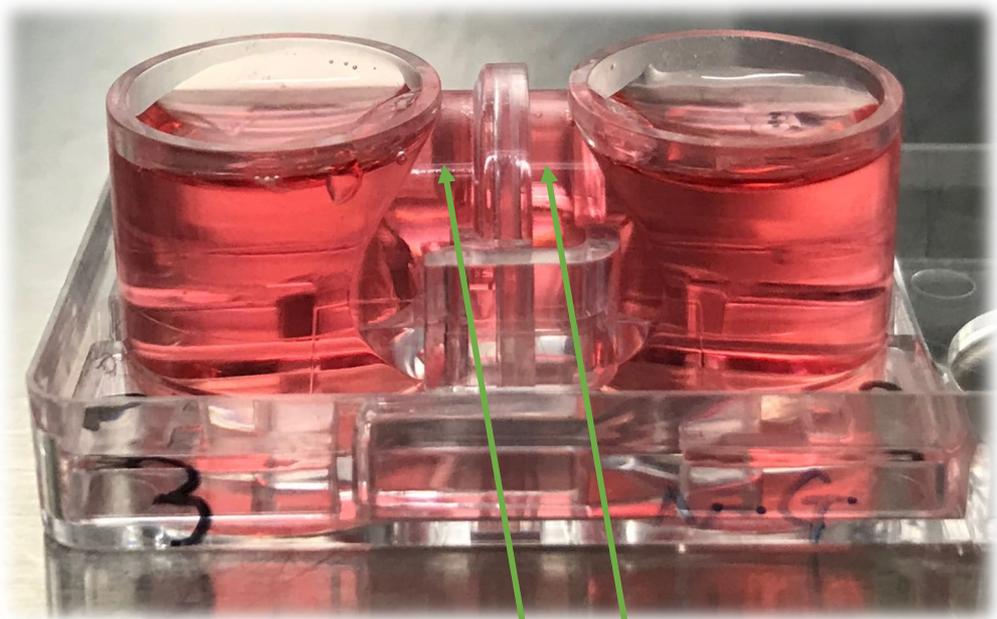
フィルターが全面  
Mediumで覆われてい  
ません。



# トラブルシューティング事例集 培養液量

## 良い状態

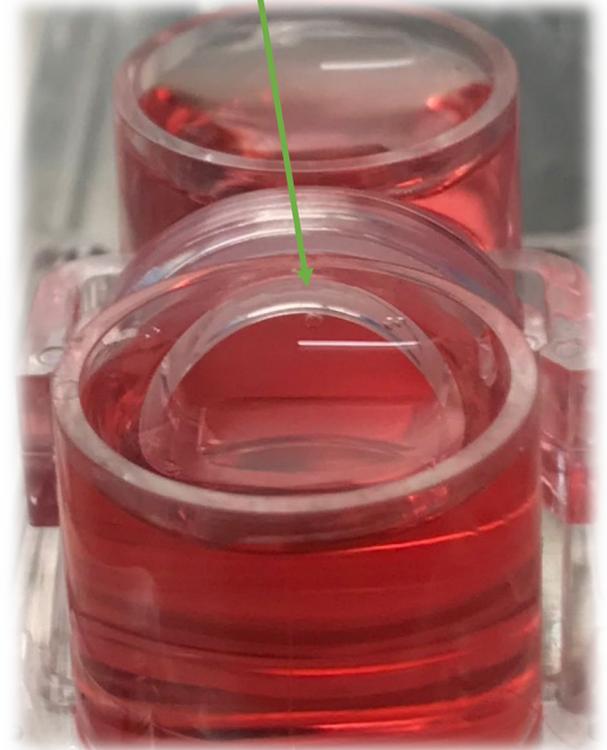
Medium量が十分である場合（1.5ml前後）



通路が液面で覆われています。

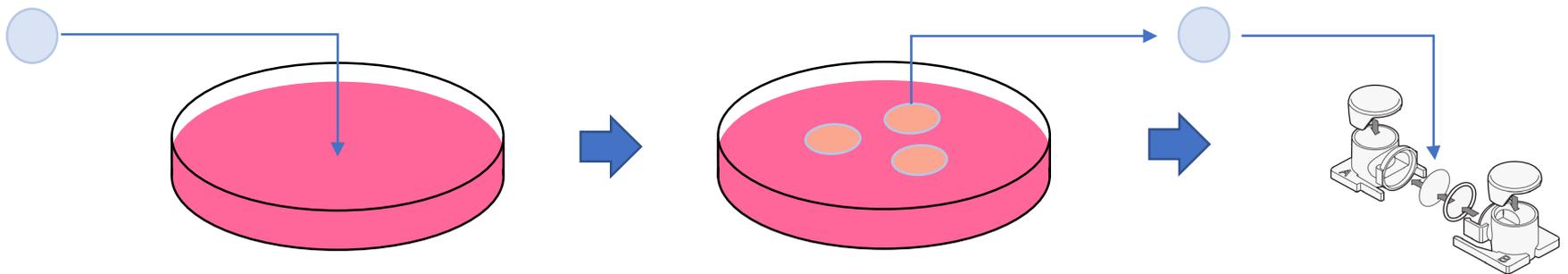
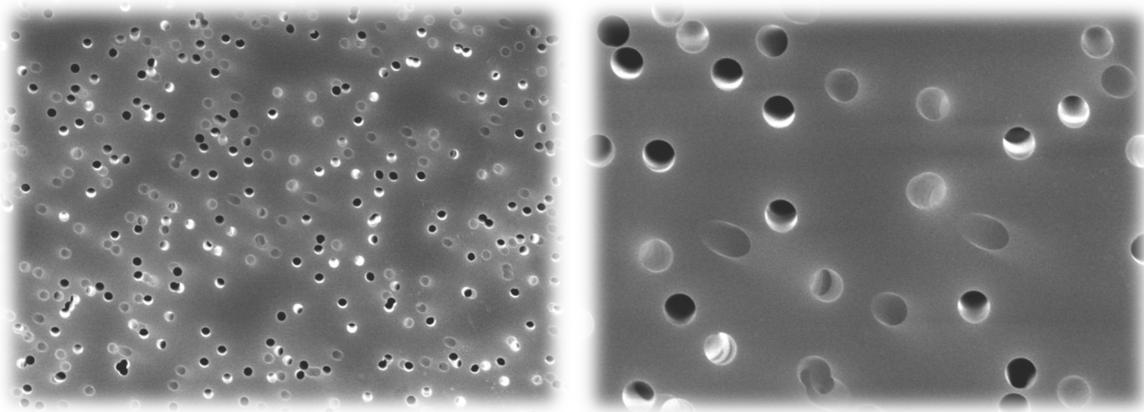
この状態で共培養させてください。  
これ以上入れると、上蓋を嵌めた際に、蓋と液面が接着してしまい、表面張力で、蓋から溢れ出す可能性があります。

フィルターが全面  
Mediumで覆われています。



# トラブルシューティング事例集 フィルター

共培養効果を見るためには、フィルターの処理が重要です。  
フィルターには微細な孔が空いており、その中に空気が入っています。  
使用前に十分に脱気しないと、空気が残存し孔を塞いだままになり、共培養効果が低下します。



5分程度使用するメEDIUMに浸しておく。  
ピンセットでフィルターをつまんで、よくすすいでから取り出す。  
オプション) ①メEDIUMに浸す前に70%エタノール3分処理 あるいは、②メEDIUMに浸して超音波振動で脱気する。